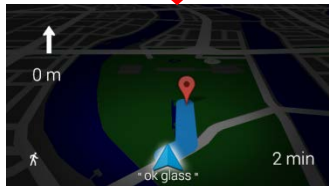


Google Glassを活用したAR観光アプリの実証デモンストレーションを実施 ～ 広島平和記念公園で、ちょっとだけ未来の“スマート観光”のスタイルを先取りしました！ ～



原爆死没者慰霊碑に向かう参加者のGoogle Glassに表示された観光・ナビ情報

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)と山陰・山陽スマート観光プロジェクト推進協議会(会長:相原玲二 広島大学教授、情報メディア教育研究センター長)は、平成26年5月26日、広島平和記念公園において眼鏡型ウェアラブル端末の観光情報の提供やナビゲーションのためのツールとしての可能性(有効性や課題等)を検証することを目的として、Google Glassを活用したAR観光アプリの実証デモンストレーションを行いました。

冒頭、齊藤局長が、「眼鏡型ウェアラブル端末とAR観光アプリを組み合わせた実証デモは国内初の試み。今後も様々な取り組みにより中国地域を“スマート観光”のショーケースにしたい。」と話しました。その後、地域情報・観光情報配信アプリ「ふらっと案内™」を実装したGoogle Glassを着用した参加者が、屋外に出てGoogle Glassに表示される情報(目的地の方向、目的地までの距離等)を基に目的地に向かって歩きながら、操作性や効果の検証を行いました。

参加者からは、「スマートフォンのように下を向かなくても情報が得られるので便利。Google Glassは思ったよりも軽くフィット感もよかった。」などの意見が出され、肯定的な評価が得られました。一方で、「バッテリーの持続時間が短い。足元への注意がおろそかになるのではないかと不安。」といった声も聞かれました。

中国総合通信局では、今後も協議会と連携し、中国地域における「スマート観光情報インフラ」の整備と普及に向けて、様々な取り組みを進めてまいります。



主催者を代表し、齊藤局長が挨拶



山陰・山陽スマート観光プロジェクト推進協議会の相原会長(左)と脇谷会長代理(右)



Google Glassに表示された情報を見ながら原爆の子の像に向かう

<お問い合わせ先> 情報通信部 電気通信事業課 082-222-3375
情報通信振興課 082-222-3466